

■施工される方へのお願い

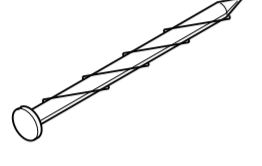
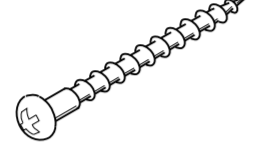
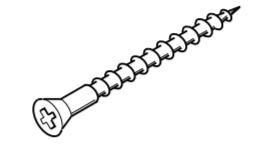
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお願い

- 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶつけたり、こすったりしないでください。
 - 樹脂部材をねじ止めする場合は、絞めすぎないようにしてください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
 - 専用内窓を取り付ける場合は、専用アタッチメント(別途有償)を取り付けてください。
 - シーリング材はシリコン系・変成シリコン系・ウレタン系が使用できます。ポリサルファイト系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。
- ※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシが変色するおそれがあります。

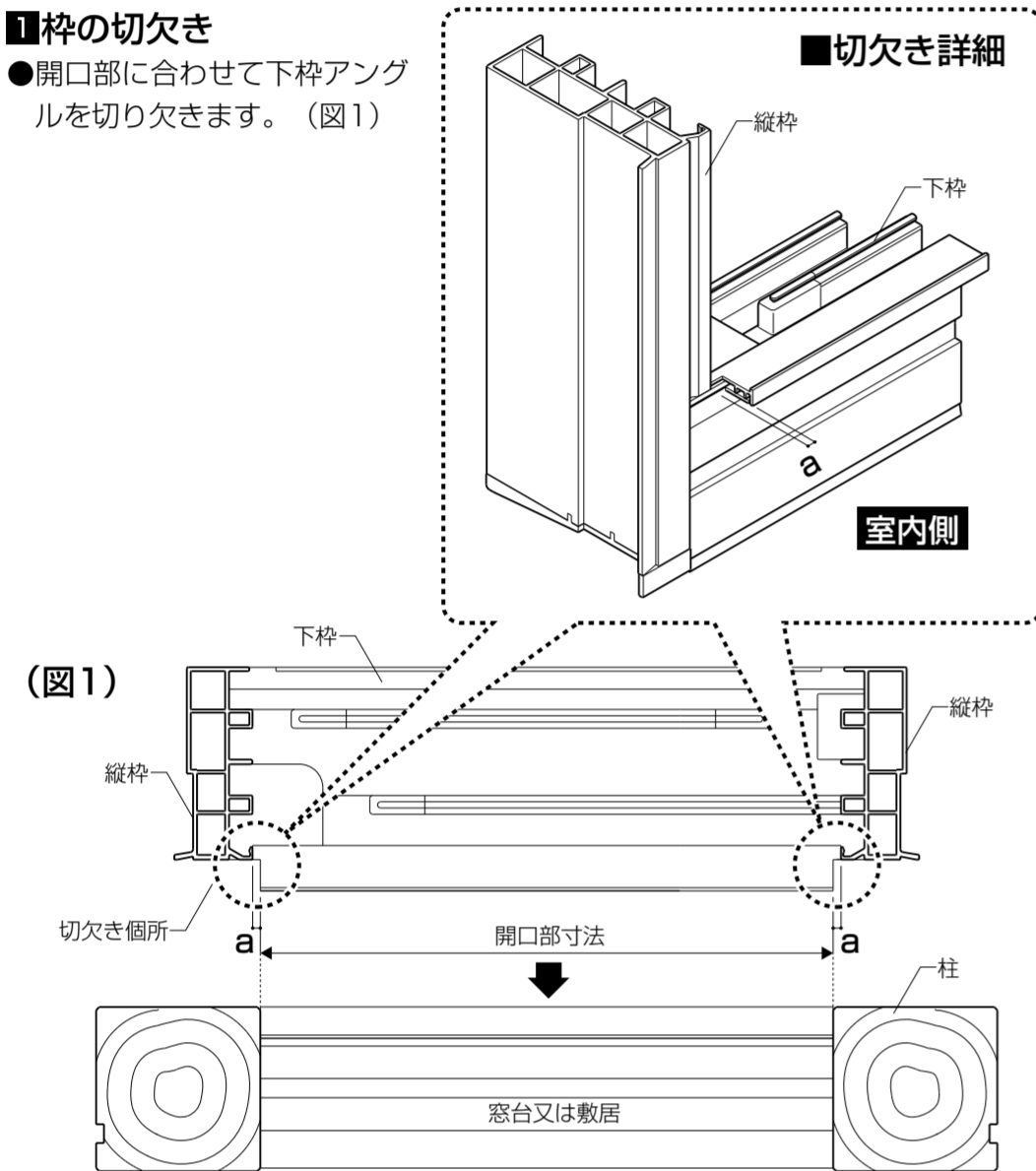
■ねじ一覧表

①	②	③
		
φ3×38スクルー釘	φ3.5×32丸木ねじ	φ3.5×38皿木ねじ

■取付け順序

1 枠の切欠き

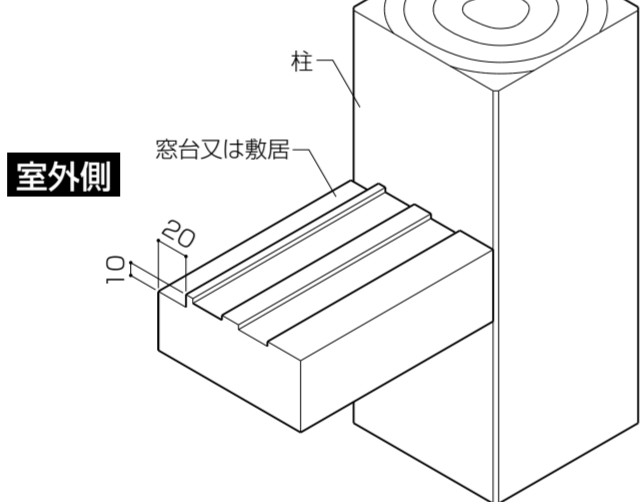
●開口部に合わせて下枠アングルの切欠きを切ります。(図1)



2 躯体の加工

●窓台又は、敷居に下枠アングルの取付け溝を掘り込みます。(10×20)(図2)

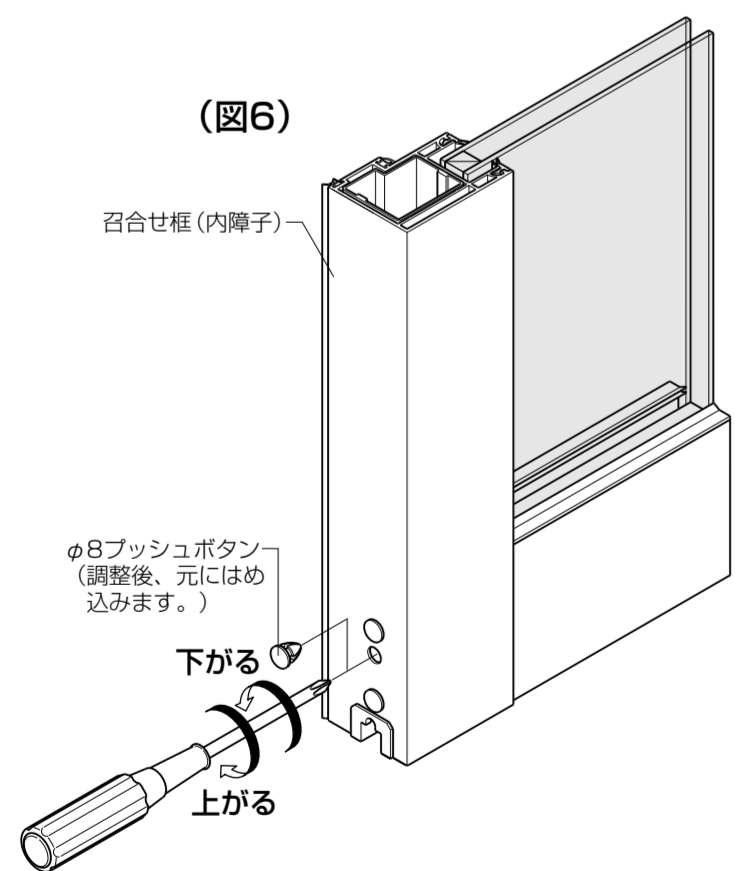
■躯体の加工(図2)



■建付け調整

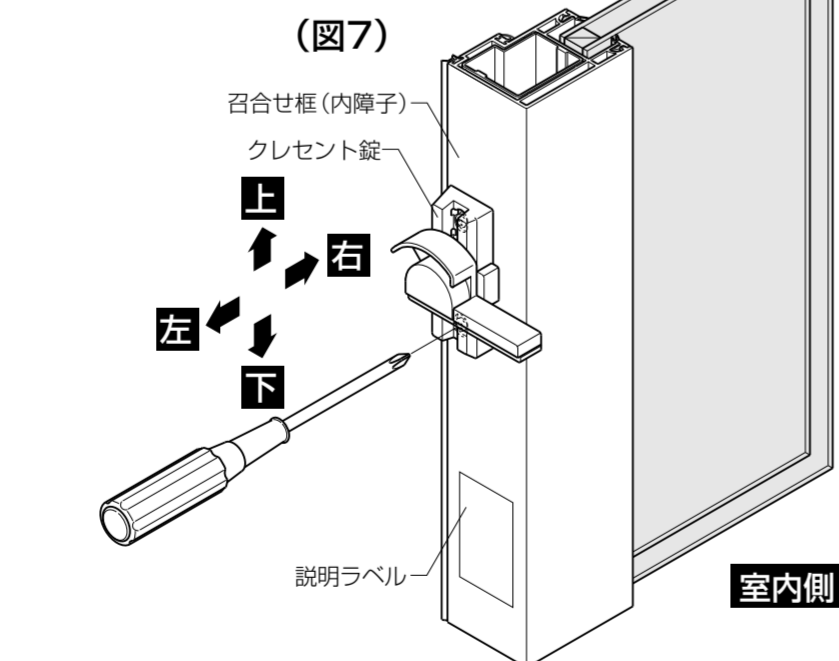
①戸車の調整

●押しボタンをいったん外し、⊕ドライバーでねじを回して障子の高さを調整します。



②クレセントの調整

●障子の高さを調整した後、クレセント錠の掛かり具合を調整します。(図7)
 ※クレセントは、上下に各2.5mm、左に2mm、右に3mm移動できます。調整の詳細は、貼付してある説明ラベルをご覧ください。
 ※ねじキャップを取る場合は、⊖ドライバーを使用してください。



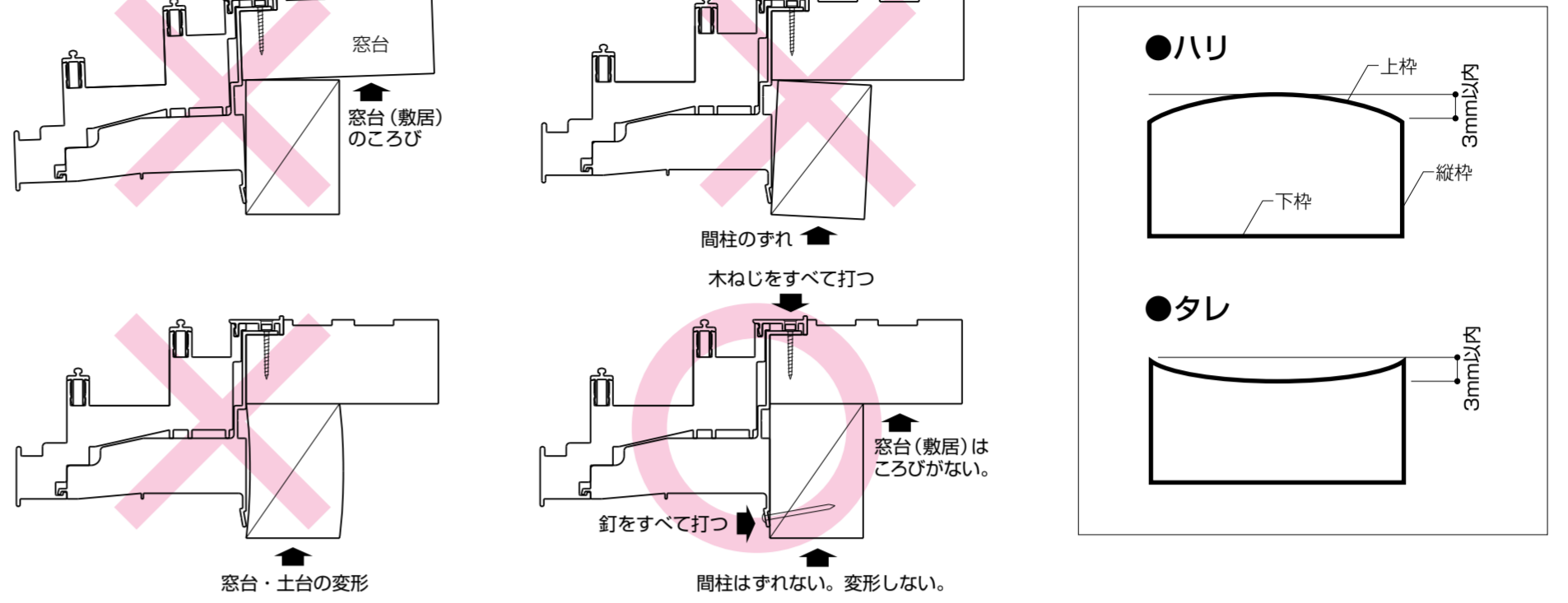
■清掃・シーリング施工上のご注意

●形材表面のつやが変化したり、傷めたりするおそれがありますので、清掃及びシーリング施工時にご注意ください。
 ※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。シーリング材・プライマーには表記のものを使用してください。

メーカー名	シーリング材	プライマー
信越化学工業(株)	シリコン系 KE42	—
	KE45	
	KE4878	
	シーラント72	
東芝シリコン(株)	シリコン系 トスシール381	トスプライム B
	トスシール371	トスプライム D
	トスシール380	トスプライム E
トーレダウコーニングシリコン(株)	シリコン系 SH780	プライマー C
	—	プライマー D
シャープ化学(株)	ブチル系	—

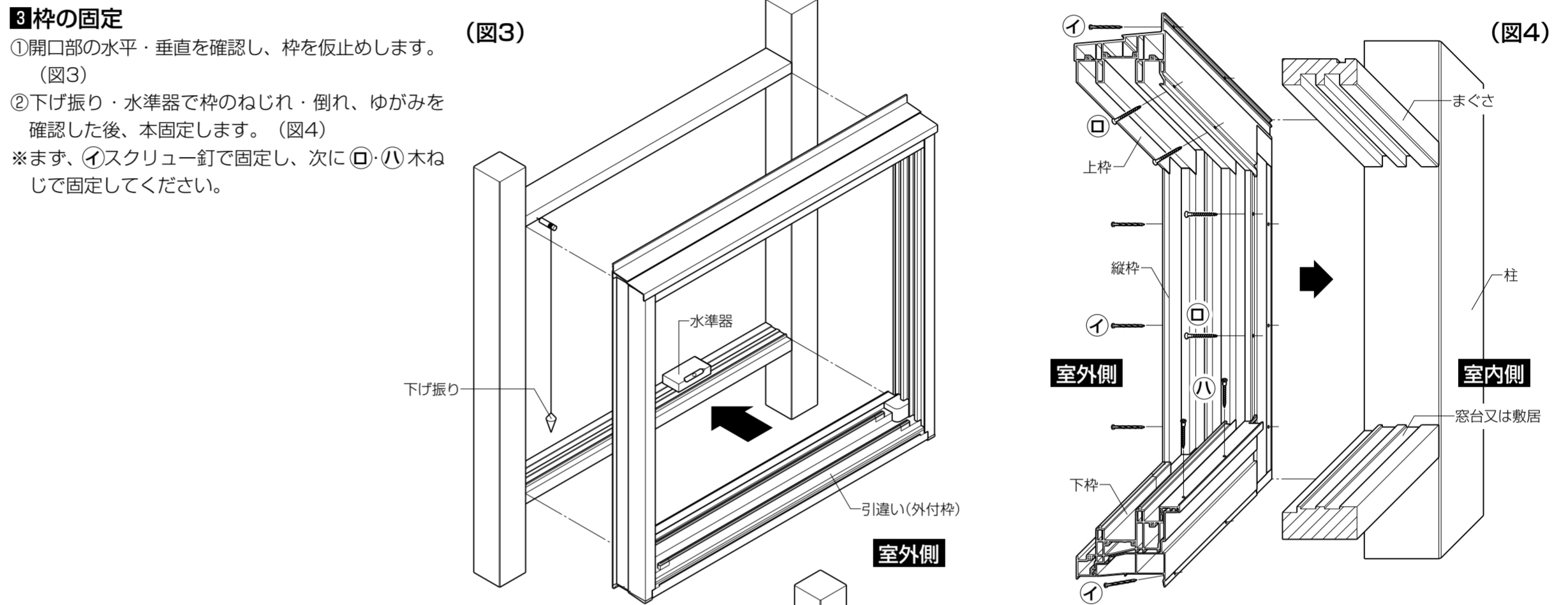
▲注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、最大で230kg(ガラスなしで50kg)となりますので下記事項をお守りください。
- 下枠が垂れ下らないように開口部を45×100mm以上の窓台(敷居)、30mm以上の間柱で、確実に作ってください。(下図参照) 障子の外れや気密・水密性能を損なうおそれがあります。
- 製品を運んだり取り付ける場合、重量に見合った人数で作業を行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 枠をスクルー釘・木ねじを使用し、確実に固定した後、障子を建て込んでください。
- サッシのハリ・タレは3mm以内に抑えてください。障子落下・開閉障害の原因になります。
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めをシールの位置まで戻してください。(「4 障子の建込み」を参照)障子落下のおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、窓廻りの防水処理とシーリングは必ず行ってください。



3 枠の固定

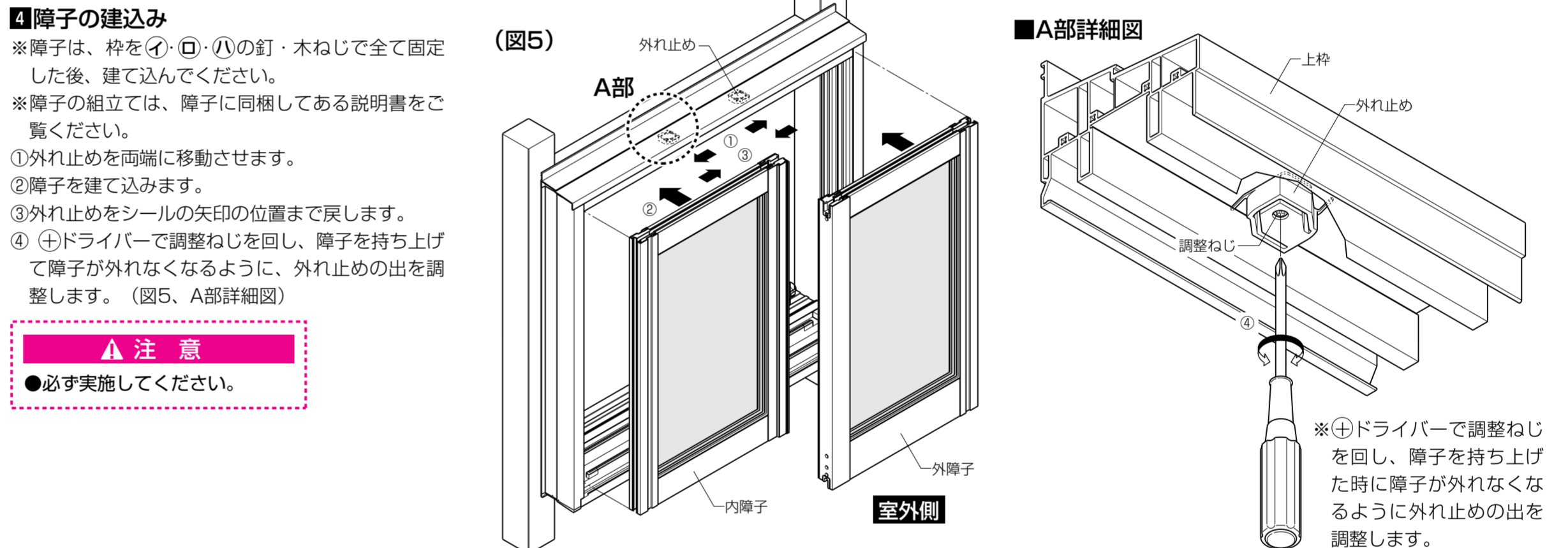
①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。(図3)
 ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ、ゆがみを確認した後、本固定します。(図4)
 ※まず、①スクルー釘で固定し、次に②③木ねじで固定してください。



4 障子の建込み

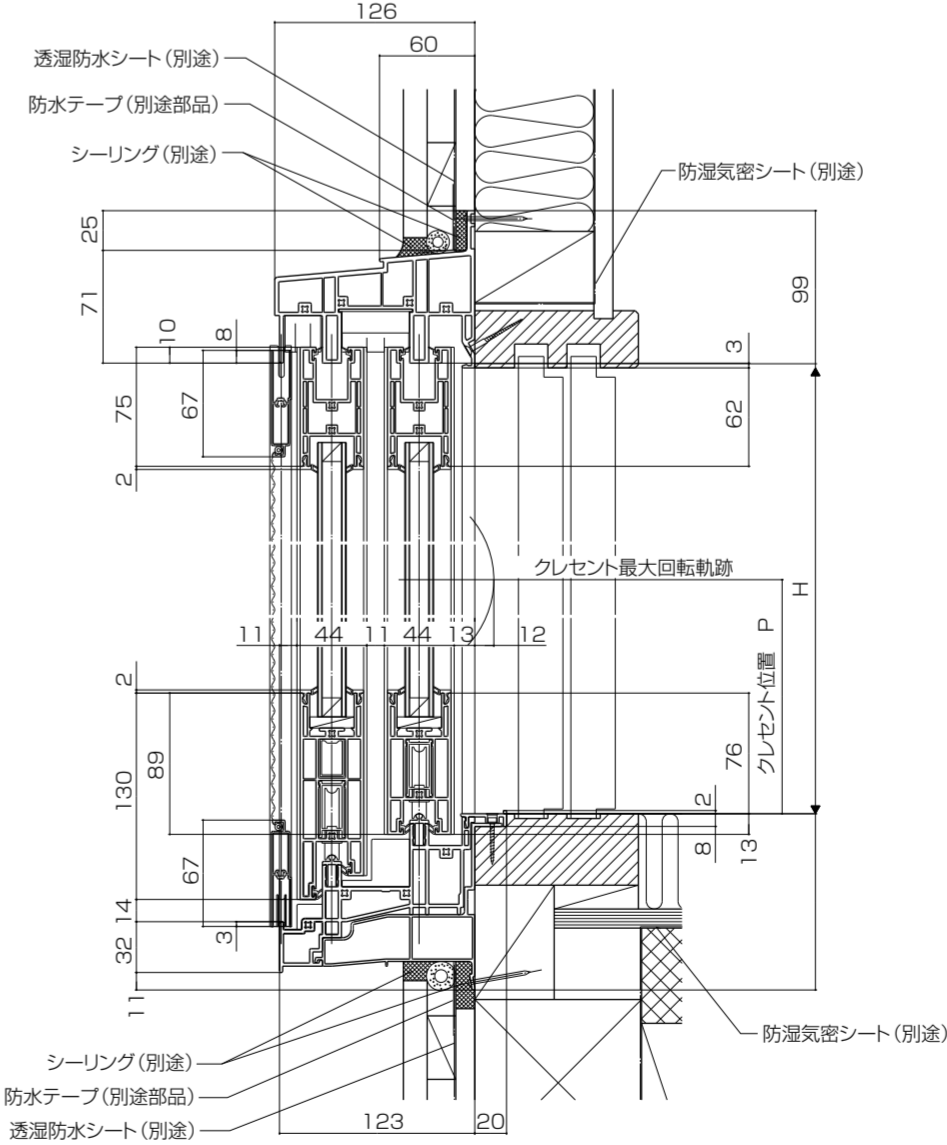
※障子は、枠を①・②・③の釘・木ねじで全て固定した後、建て込んでください。
 ※障子の組立ては、障子と同梱してある説明書をご覧ください。
 ①外れ止めを両端に移動させます。
 ②障子を建て込みます。
 ③外れ止めをシールの矢印の位置まで戻します。
 ④⊕ドライバーで調整ねじを回し、障子を持ち上げて障子が外れなくなるように、外れ止めの出を調整します。(図5、A部詳細図)

▲注意
 ●必ず実施してください。

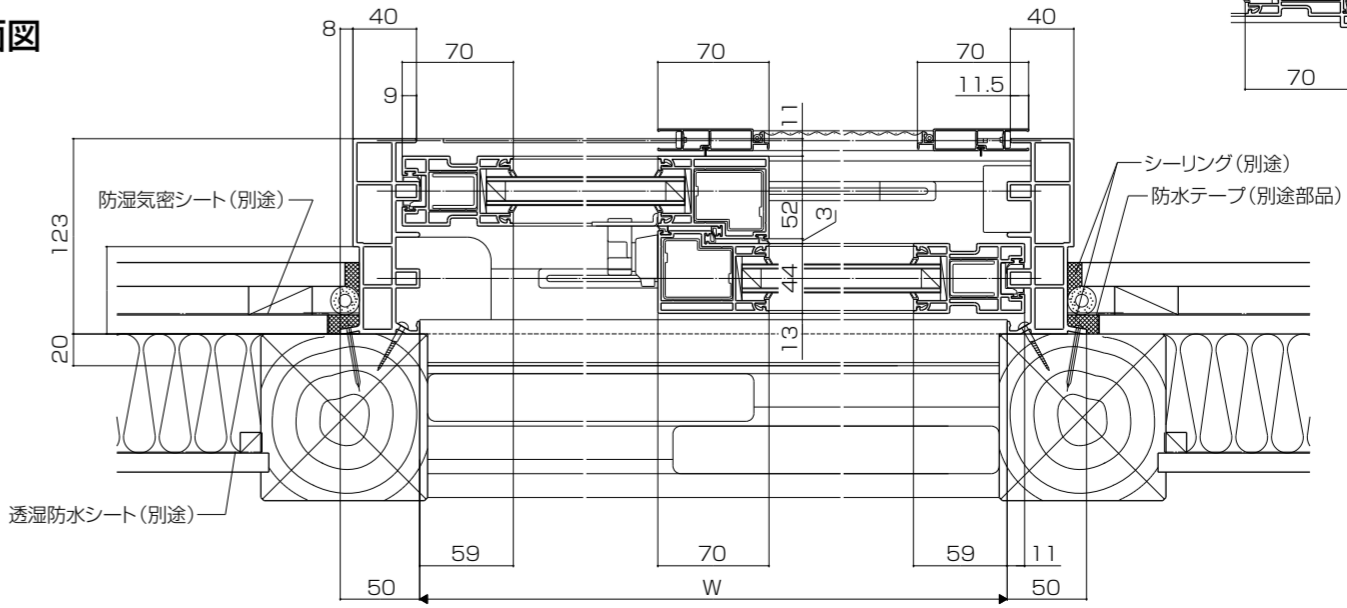


■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図



【4枚建合掌部】

